

Eri Liao^{vocal}
 岩田卓也^{尺八}
 伊藤志宏^{piano}
 FALCON^{guitar}

2026 01月04日(日)

開場 16:30

開演 17:00

(2ステージ入替無) (1drink=600~)

MC=4800+2drinks order

CAFE BEULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
 必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
 ご記載下さい。



Eri Liao

歌手。台湾・台北市出身。幼少時から自身のルーツである台湾原住民民族タイヤル族の音楽や踊りに親しむ。東京大学大学院在学中、ジャズに関心を持ちニューヨークへ。文芸創作とジャズを学ぶ。祖母の死をきっかけに本格的に音楽活動に取り組み、現地ミュージシャンとセッションを重ねる中、Billy Harper (ts) ボーカルプロジェクトメンバーに抜擢され、シンガーとして活動開始。ジャズから台湾原住民音楽、民謡など、古今東西、言語やジャンルを超えて心揺さぶる“うた”の世界を歌い続けている。2017年9月、Eri Liao Trio 1st アルバム「紅い木のうた」発売。2022年7月、第9回国際口琴大会（ベルリン）にて Lubuw（タイヤル族竹口琴）演奏。

<https://eriliao.jimdoofree.com/>



伊藤志宏

五歳の頃より祖父の岸川基彦にクラシックピアノを師事する。大学入学の頃よりセロニアスモンクのCDを聞いてジャズに興味を持ち独学でジャズピアノを始め、23歳頃からプロ活動を開始。特に変則形態における演奏には定評があり、ソロピアノ、トリオシンクレティア、audace、3 cello variation、Symposium Ensemble など多彩な編成で独自の音楽活動を模索中。また沢山の歌手から伴奏者、アレンジャーとして信頼を寄せられ演奏以外に映画音楽の作曲なども手がけている。これまでに8枚のリーダー作を発表。近年の作品としては、2025年6月トリオシンクレティアの2nd album「隠された寓話」を発表（8枚目のリーダー作）益々の奇才的活動に注目が寄せられる。

公式サイト

<https://www.shikoupf.com/>
www.shikoupf.com



岩田卓也

1980年6月8日生まれ。愛知県常滑市出身。12歳より尺八をはじめる。東京藝術大学中退。在学中人間国宝の山本邦山師に師事。2002年NHK邦楽オーディション合格。2004年、長谷川健校記念全国邦楽コンクールにて最年少で最優秀賞と文部科学大臣奨励賞を受賞。地元・常滑市より表彰される。2009年第6回東京邦楽コンクール、優勝。2012年国際尺八コンクール優勝。世界一のタイトルを獲得。その後今までの尺八をすべて泉州尺八工房のオリジナルタイプAに変更。穴の数も5孔から6孔へ。コシノジュンコやクリスチャン・ディオールショーで演奏。2010年から2016年坂本冬美ステージメンバー。テレビ出演は「紅白歌合戦」「芸能華舞台」(NHK)など。海外公演20カ国以上。アメリカ、ニューヨークでの世界芸術見本市に日本代表として参加。シビウ国際舞台芸術祭スペシャルサックス特別招待公演参加。2010年にはNHK日本賞授賞式にて皇太子殿下の前で演奏を務めた。2016年より作曲にも取り組む。自身のリーダーユニット、岩田卓也@MAKI、残歌(岩田卓也、伊藤志宏、ファルコン)型にはまらない独特な演奏と気持ちを揺さぶる感情表現、リズム感を武器に尺八の新たな可能性を切り開いている。



FALCON

アコースティックギターを軸にエフェクトを活かした空間的音作りによる独自の奏法が話題を呼び、ウェイウェイ・ウー(二胡)、中西俊博(vn)、カルメン・マキ(vo)、鬼怒無月(g)、マレー飛鳥(vn)等と共演。Eri Liao Trio、残歌、残響SWIFT、サイバー民族団など多数のバンドに参加、CDリリース。自然や風景を描写した作曲、様々な地域の民謡とのコラボレーション、即興演奏を軸にしたダンス、朗読、写真とのコラボレーションなど多様な音楽に取り組む。2019年2nd ソロアルバム「美しい様々の夢」発売。2023年10月にEri Liaoと飛鳥stringsをフォーカスして作詞作曲、アレンジも手掛けて「うた」に取り組んだプロジェクト「ハルカストリングス」の1st album「風の中の夢」を発売。